

腸管出血性大腸菌感染症

1. 2024年の届出数

(1) 内訳

総届出数 76人

- ・ 患者 42人

年齢; 1～86歳(平均36.2歳、中央値28.5歳)

性別; 男22人、女20人

HUS; 1件

- ・ 無症状病原体保有者 34人

年齢; 1～74歳(平均34.6歳、中央値34歳)

性別; 男5人、女29人

集団感染事例

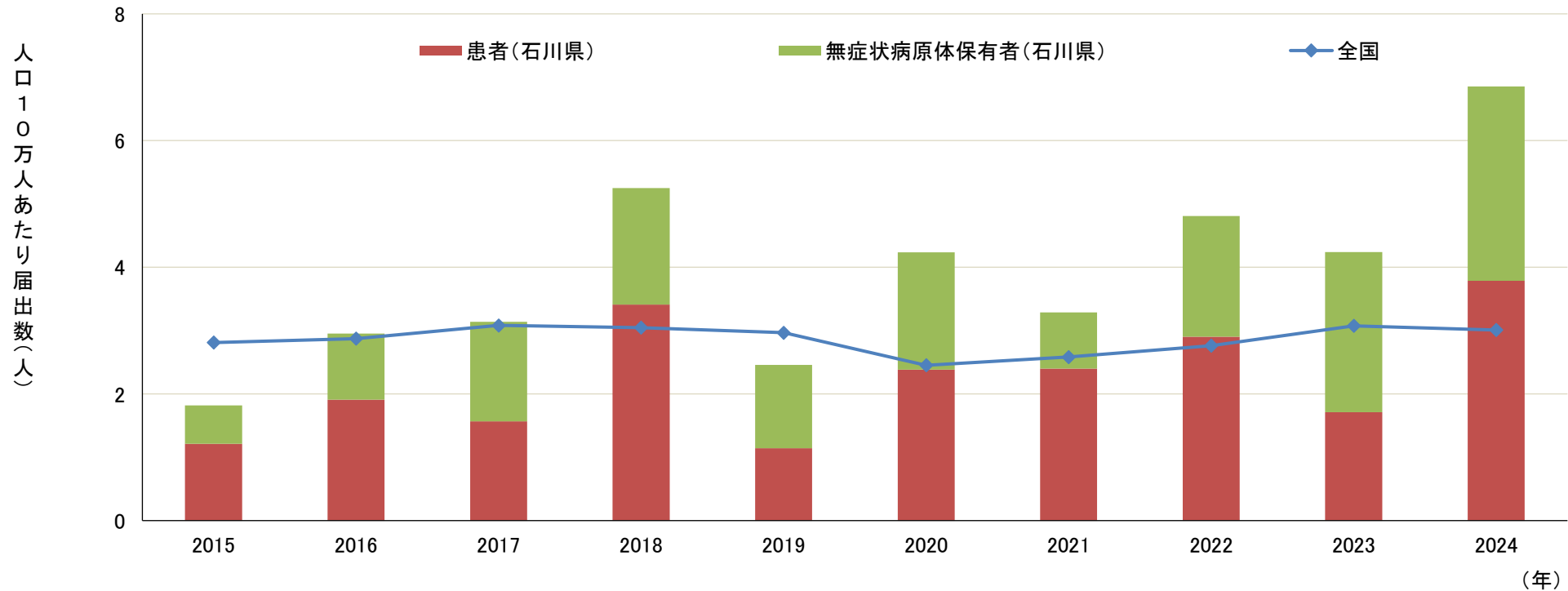
- ・ 食中毒事例(O157): 12人
- ・ 保育園での集団発生事例(O26): 10人

(接触者検便で判明した家族内無症状病原体保有者事例を除く)

2-1. 届出数の推移

(1) 2015～2024年

- 石川県における2024年の人口10万人あたり届出数は前年(2023年)より増加、患者の割合が増加した
- 石川県は全国と比較して人口10万人あたり届出数が多い傾向にある



2-2. 届出数の推移

(2) 週別届出数(血清型別)の推移(2024年)

- 全国では例年どおり夏期に届出が多く、石川県も同様であった
- 食中毒事例などによる集積がみられた

保育園での集団発生事例
(O26)
(第11～14週:10名)

食中毒事例(O157)
(第26～28週:12名)

